

## 令和 4 年度「長寿科学研究開発事業」における事後評価について

令和 5 年 5 月

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
疾患基礎研究事業部 疾患基礎研究課

事後評価は、各課題の研究開発の実施状況、研究開発成果等を明らかにし、今後の研究開発成果等の展開及び事業等の運営の改善に資することを目的として実施します。

長寿科学研究開発事業では、本事業における事後評価の評価項目に沿って、課題評価委員会において、書面・ヒアリングによる事後評価を実施しました。

### ●総評

本研究事業は、高齢者が老いや高齢者特有の疾患または病態等に罹患しながらも、その人らしく生活を送るために必要な医療や適切な介護の提供に資する研究開発を推進しています。今後、医療や介護人材の確保が更に難しくなり労働力としての制約が強まる中で、限られた人材・資源によって効率的かつ質が担保された医療・介護を提供して高齢者の生活を支援するため、科学的根拠に裏付けられた技術開発や費用対効果を踏まえた新たな提供体制の提案等が必要とされています。

本研究事業では、老年医学領域における研究を基礎として高齢者の生活を包括的に支援する基盤整備を推進する観点から研究を進めています。

評価委員会では令和 4 年度で終了した 3 課題を対象としました。2 つの課題において計画を超える進捗が得られたことが評価され、残る 1 課題については、概ね計画通りに進捗していたとの評価を得ました。

「特性の異なる集団における幅広い生体マーカー探索と結果の相互検証によるサルコペニアの評価手法の開発と応用研究」は、容易かつ安価に測定可能であるサルコペニアの生体マーカーを開発し、その有用性を特性の異なる集団において示し、また、他の候補物質においても有用なシーズを見出したことが評価されました。今後の臨床応用、社会実装に向けてさらに検証が進むことが期待されます。

「ICT プラットフォーム構築による介護予防サービスの実証フィールドの開発研究」は、自治体が有するレセプトデータと健康状態データをクラウド環境でデータ統合することが可能な基盤がつくられ、また歩行・転倒におけるアラート開発につながる検証がなされた点

が評価されました。実装拡大における課題解決に向けて引き続き検討されることが期待されます。

「WEBカメラを用いた脈拍・呼吸・酸素飽和度の非接触型遠隔リアルタイムモニタリングシステムの開発」については、非接触で4種類の生理指標を観察できるシステムを開発し、従来の接触型との同等性を確認、特許取得に至ったこと、また多様な場面での活用が期待される点が評価されました。システムの小型化をはじめ、さらなる検証がなされ、社会実装されることが期待されます。

### ●対象 3 課題

介護予防に資する加齢に伴う機能低下の評価手法に関する開発研究			
研究開発課題名	研究開発代表者	所属機関	役職
特性の異なる集団における幅広い生体マーカー探索と結果の相互検証によるサルコペニアの評価手法の開発と応用研究	田原 康玄	静岡社会健康医学大学院大学	教授
開かれたデータベースシステムを活用しICT等を用いた効果的な介護予防サービスの産官学共同開発			
研究開発課題名	研究開発代表者	所属機関	役職
ICTプラットフォーム構築による介護予防サービスの実証フィールドの開発研究	福田 治久	九州大学	准教授
遠隔からの在宅療養者の身体観察を可能とする生体指標観察システムの開発研究			
研究開発課題名	研究開発代表者	所属機関	役職
WEBカメラを用いた脈拍・呼吸・酸素飽和度の非接触型遠隔リアルタイムモニタリングシステムの開発	西館 泉	東京農工大学	准教授

### ●審査実施日

書面審査実施期間	令和5年4月20日(木)～令和5年5月10日(水)
面接（ヒアリング審査）審査	令和5年5月19日（金）

### ●課題評価委員 名簿

	氏名	所属・職名
評価委員	石井 恭正	東海大学 医学部 医学科基礎医学系分子生命科学 准教授
評価委員	大庭 幸治	東京大学 大学院情報学環/学際情報学府 准教授
評価委員	小川 敬之	京都橘大学 健康科学部 作業療法学科 教授

評価委員	片山 陽子	香川県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科 教授・看護学 科長
評価委員	後藤 温	横浜市立大学 学術院 医学群 データサイエンス研究科 教授
評価委員	鈴木 みづえ	浜松医科大学臨床看護学講座 老年看護学 教授
評価委員	田高 悦子	北海道大学 大学院保健科学研究院 創成看護学分野 教授
評価委員	玉腰 暁子	北海道大学 大学院医学研究院 社会医学分野 教授
評価委員	徳田 治彦	国立長寿医療研究センター 臨床検査部長
評価委員	永井 久美子	杏林大学医学部高齢医学教室
◎委員 長	中村 利孝	東都三軒茶屋リハビリテーション病院 病院長
○副委員長	中山 健夫	京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 教授
評価委員	渡邊 慎一	横浜市総合リハビリテーションセンター 副センター長

PS・PO 名簿

	氏名	所属・職名
PS	飯島 節	筑波大学 名誉教授／介護老人保健施設ミレニアム 桜台 施設長
PO	数井 裕光	高知大学 医学部 教授

●評価項目

- ①研究開発達成状況
- ②研究開発成果
- ③実施体制
- ④今後の見通し
- ⑤事業で定める項目及び総合的に勘案すべき項目
- ⑥総合評価

以上